

「発達障害を知ろう」講演会

時 12月3日(土)午後2時～4時(開場：午後1時30分)

所 市民ホール 小ホール

内 講演会と質疑応答

演題 “発達障害”はじめのいっぽ 乳幼児期編

～乳幼児期に大切なことは、生活リズムと親子のふれあい～

講師 阪上 由子さん(滋賀医科大学 小児科学講座 特任准教授)

対 市内在住・在学・在勤の中学生以上(小学生以下は保護者
同伴のうえ、別室で傍聴可)

定 150人 費用 無料

申 11月25日(金)までに電話、ファクス、メールまたは直
接、下記へ申し込み。ファクス・メールの場合は、件名に「講演会申し込み」と記入し、①名前、②年齢、
③市内在住の有無、④市内在学・在勤の有無、⑤連絡先電話番号、⑥手話通訳希望の有無、⑦別室での参
加の有無、⑧講師への質問(あれば)を明記してください。

問 発達支援課 ☎・☎(582)1158 ☎(581)1628

✉hattatsu@city.moriyama.lg.jp



*緑の葉と水の雫をモチーフにした守山ブランドのロゴマークです。
小さな活動が種となって、大きく育つ「守山」をイメージしてタイトルをつくりました。

はなしの
タネ

気軽に気楽に誰でも楽しめるセパ着物

11月19日(土)午前11時～午後5時
「Café Ink MORIYAMA」で体験会



セパ着物を紹介する
金守千恵さん

地域共生社会の実現に向け、市民交流やさまざまな人の
就労など社会参加に向けたコーディネートを行う拠点である「Café Ink MORIYAMA」(播磨田町115-5)と、ユニバー
サルデザインのセパ着物を扱う会社「湖布」がつながって、
体験会(30分無料)を開くことになりました。

市内にある障害者施設で働いていた金守 千恵さんは、
「誰もがもっと着物を気楽に楽しめたら」と考え、単筒に
眠っている着物を二部式のセパ着物に仕立て直す「湖布」の
起業を決意しました。

着付けは気軽に、仕上がりは本格的でおしゃれに、と考(しゅぼん)えて襦袢や帯、小物までさまざまな工夫をほどこ
しました。着物初心者や障害のある人にも着やすい形を心がけて仕立てているそうです。金守さんは「障害の
ある人も高齢者も子どもも誰でも着物を着ると、とても明るい表情になります。日本伝統の民族衣装を誰で
も日常場面で楽しんでもらうこと、将来的にはセパ着物が障害のある人の仕事創出にまでつなげる守山ブ
ランドになることを、今後のライフワークにしたいと思っています」と話していました。

セパ着物とは…「湖布」で販売している、上下に分かれた二部式またはセパレート着物を略した商品名です